

2018年5月25日

各位

2018年度キェルケゴール協会第19回学術大会および総会のお知らせ

キェルケゴール協会会長
梶形公也

拝啓

薫風の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る7月1日（日）に東洋大学（白山キャンパス）においてキェルケゴール協会第19回学術大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

会員以外の方のご来聴も歓迎いたします。多くのご参加をお待ちしております。また、入会手続きなどにつきましては下記の事務局にお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時：2018年7月1日（日）10：20～17：00

会場：東洋大学 白山校舎（東京都文京区：白山キャンパス）6号館4階6405教室・6407教室

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

（都営地下鉄三田線「白山」駅A3出口から「正面・南門」徒歩5分。詳しい地図と学内案内は別紙をご参照下さい）

会員控え室：6号館4階6406教室

I 研究報告（発表30分、質疑応答10分）[10：20－11：45]

A会場（6号館4階6405教室）

1. (10:20-11:00)

司会 森田美芽

馬場翔太郎 「レギーネ問題と『おそれとおののき』—罪人の愛の現れとしての離別—」

2. (11:05-11:45)

司会 馬場翔太郎

小林弥那美 「原罪における『死に至る病』と『不安の概念』の関係」

B会場（6号館4階6407教室）

1. (10:20-11:00)

司会 中里巧

中村元紀 「現代哲学における実存概念—キェルケゴールとヤスパースの場合—」

2. (11:05-11:45)

司会 中村元紀

木瀬康太 「キェルケゴールによる「直接性」の擁護のコンテクスト」

理事会 12：00－13：30 （6号館4階 文学部会議室）

II シンポジウム (13:45-15:45) (6号館4階6405教室)

テーマ「ルター、キルケゴール、カール・バルトにおける聖書と教会」

司会者：須藤孝也

1. 提題者：
阿部善彦 「ルターにおける聖書と教会—真理、信仰、実存をめぐる—」
鹿住輝之 「最初に恩寵がある：キルケゴールにおける聖書と教会」
阿久戸義愛 「カール・バルトにおける近代主義批判と新しい福音理解」
(提題者発表 各25分)
2. 司会者から各提題者への質問 (15分)
3. 全体討議とまとめ (30分)

III 会員総会 (16:00-17:00) (6号館4階6405教室)

IV 懇親会 (18:00-20:00)

会場：東僑酒楼 巣鴨本店 (JR巣鴨駅 北口 徒歩1分、巣鴨駅から112m)

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨2丁目4-4 (場所は当日地図を配布いたします)

Tel: 03-6903-4438

会費：会費5000円(予定)

以上

キェルケゴール協会事務局

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学白山校舎 文学部哲学科中里巧個人研究室気付

Tel 03-3945-7353

kierkega@toyo.jp

東洋大学白山キャンパスまでの交通案内

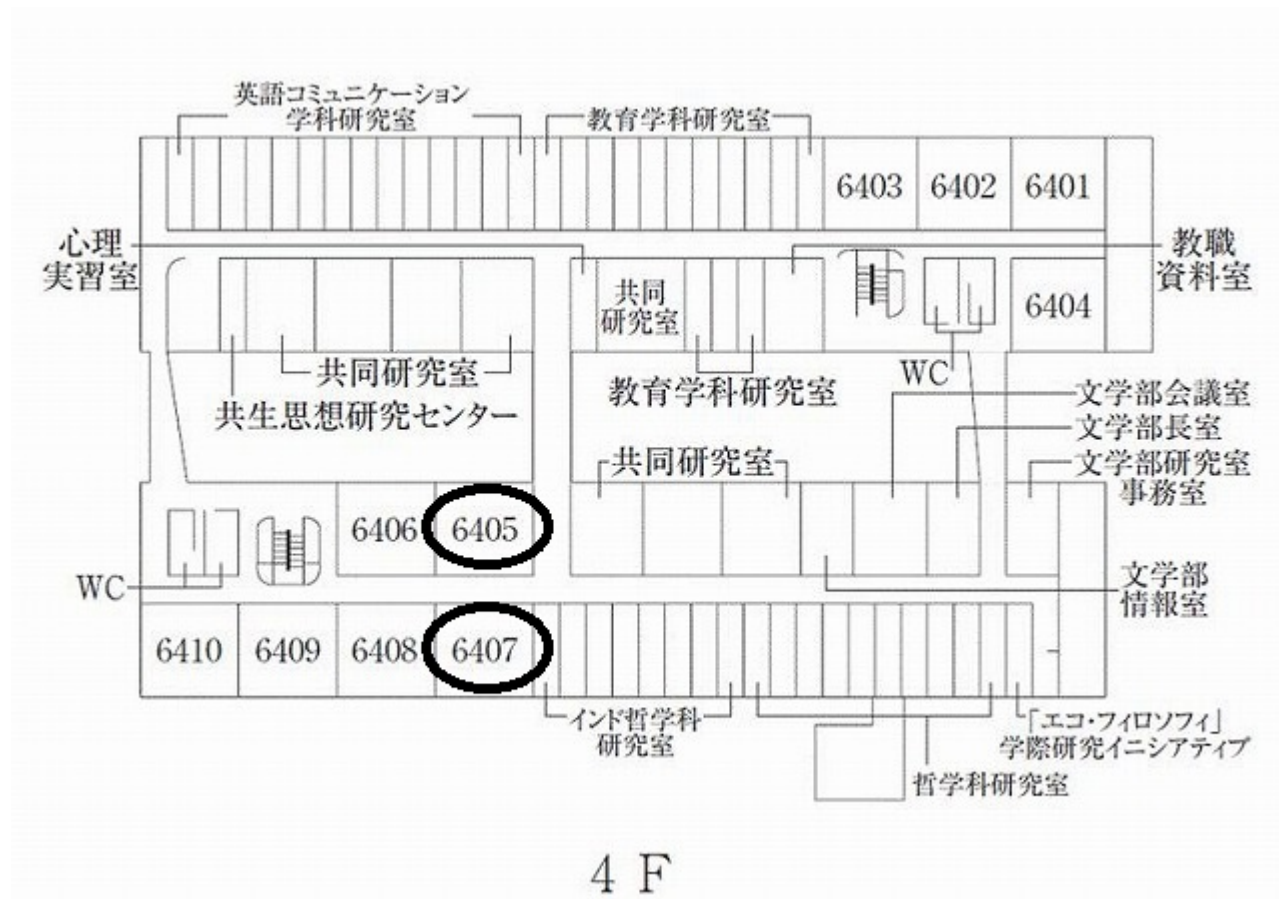
JR東京駅下車して山手線（内回り）に乗り換え。巣鴨駅で下車して地下鉄都営三田線（白金高輪、武蔵小杉、日吉行き）に乗り換え。白山駅下車。東京駅からの所要時間は約30分です。

東洋大学白山キャンパス構内図

都営地下鉄三田線「白山」駅・A3出口から「正面・南門」徒歩5分



東洋大学白山キャンパス 6号館の館内図（4F）



開催校：東洋大学白山校舎（6号館4階6405・6407番教室）
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20